

3

円滑な接続のために配慮したいこと

円滑な接続を進めるためには、幼稚園等と小学校の連携・協力はもとより、「子どもたちをともに育てていく」という視点にたった、家庭や地域社会との連携・協力がとても重要です。また、特別な支援が必要な子どもの入学の際には、子どもや保護者は不安に思っていることも多くあります。

円滑な接続を進めるため、以下のことにも留意して取り組んでください。

(1) 家庭や地域との連携・協力について

①家庭との連携・協力

教育を取り巻く社会情勢において、人口減少社会、少子高齢社会がますます進み、子どもたちの数が今後も減少していく見込みです。また、家庭を取り巻く状況も複雑になり、家庭教育の重要性も指摘されています。

そのような中、保護者の中には、話し相手や相談相手がおらず、子育てや子どもの教育に不安を感じているような場合があります。幼稚園等では、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、幼稚園等と家庭が一体となって取り組むをすすめているところですが、今後もこれらの機能を発揮し、保護者の不安の解消等につなげていくことが大切です。



また、生活習慣の確立など、家庭と協力して取り組むことで子どもたちの健全な発達につながるようなことについては、家庭と積極的に連携しながら、協力を得るようにすることが重要です。

②地域との連携・協力

子どもたちは、地域の身近な人と触れ合うことで、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて様々な人と関わるようになっていくとともに、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつことにもつながります。その際、幼稚園等における子どもたちへの関わり方、家庭における関わり方、地域における関わり方が一貫したものであると、子どもたちは安心して様々な人々と関わり生活することができます。幼稚園等や小学校は、家庭や地域と日頃取り組んでいることや子どもの様子を共有し、家庭や地域と共通の理解・目的をもって子どもたちを育てていくようにしましょう。

＜地域との交流の例＞

- 地域の身近な施設を利用したり、地域の行事に参加したりするなど、地域の人々と出会えるような環境を工夫し、子どもたちが地域の人々と会話などをする機会を取り入れる。
- 幼稚園等に小学校や地域の人々を招いて一緒に活動し、様々な人と触れ合えるような活動を取り入れる。
- 幼稚園等での取組の様子などを地域に情報発信や共有をすることで、地域の人々に園への親しみをもって関わってもらうなどの関係づくりをする。

（２）特別な支援を必要とする子どもへの対応について

幼児は一人ひとりが異なった発達の姿を示すため、保育者は幼児の発達に即して、幼児の行動に温かい関心をよせたり、ともに考えたりするなど、一人ひとりに応じた関わりが大切です。また、日頃の教育・保育を通じて、子どもたちの特性を丁寧に把握することが重要です。特に、特別な支援を必要とする子どもは、新しい環境に不安を感じることもあるため、幼稚園等でうまくいっていたこと、困っているときの対処の方法などを小学校と共有することは、子どもたちの安心や成長につながります。以下で具体を述べているように、個々の幼児の状態に応じた、子どもたちを支える体制づくりや関係機関との連携を丁寧に行っていきましょう。

① 特別な支援を必要とする子どもを支える体制づくり

障がいのある子どもへの指導にあたっては、集団の中で生活することを通して、全体的な発達を促していくことに配慮して、個々の幼児の障がいの状態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うようにします。また、長期的な視点で幼児への教育的支援を行うために、家庭や地域の関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画を作成し、活用に努めるとともに、個々の幼児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用するようにします。

その際、担任が一人で抱え込むことのないよう組織的な対応ができるようにし、一人ひとりの障がいの状態や個々の状態に応じて指導内容や指導方法の工夫を検討し、的確な指導を行うようにするため、特別支援学校の助言等も活用するようにします。

② 支援に関する情報の引き継ぎと関係機関等との連携

幼稚園等で子どもたちの実態を把握するためのツールである「CLM(チェックリスト・イン・みえ)と個別の指導計画」や幼稚園等で作成する個別の教育支援計画、保護者が管理活用するパーソナルカルテ、医師の診断による学校生活管理指導表などを活用して、丁寧な引継ぎを実施することで、切れ目ない支援体制の充実を図るとともに、家庭、地域、医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関と連携し、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくりましょう。

※ CLM (Check List In Mie) :幼稚園等に通う発達障がい児等の行動等を観察し、個別の指導計画を作成するためのアセスメントツール

※ パーソナルカルテ：本人や保護者が必要な情報（生育歴等）を記入したり、学校や関係機関等から提供を受けた情報を追加して綴じ込んでいくファイル形式のもの